

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市立地適正化計画 第5回策定委員会
開 催 日 時	令和5年10月23日（月） 開会：14時00分 ・ 閉会：15時30分
開 催 場 所	行田市産業文化会館2階 2B会議室
出 席 者（委員） 氏 名	田尻委員長、細井委員、長岡委員、根岸委員、大島委員、酒井委員、高柳委員、樽見委員
欠 席 者（委員） 氏 名	鈴木委員、長谷川委員
事 務 局	【都市計画課】 高橋部長、寺田課長、吉田副参事、井上主幹、芹澤主査、栗田主任、増田主事 【交通対策課】 島田次長、大澤主査
会 議 内 容	◆議事 ・ 定量的な目標値等について ・ 施策の達成状況に関する評価指標について ◆報告事項 ・ 行田市地域公共交通計画について
会 議 資 料	（資料名・概要等） ・ 次第 ・ 目標指標の設定 ・ 立地適正化計画素案 ・ 行田市地域公共交通計画骨子(修正案) ・ 行田市地域公共交通計画(案)（第1章～第3章） ・ 地域公共交通計画及び立地適正化計画の策定スケジュール案
その他必要事項	傍聴者1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認</li> </ul>
田尻委員長	<p><b>2 あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田尻委員長よりあいさつ</li> </ul>
酒井委員	<p><b>3 議事</b></p> <p><b>(1) 定量的な目標値等について、及び施策の達成状況に関する評価指標について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料に沿って説明</li> <li>・質疑</li> </ul> <p>防災に関する目標指標について、目標値の132件の根拠を教えてください。また、市民意識調査は何年ごとに実施しているのか。</p>
事務局	<p>現状値の104件から28件増加の132件を目標としている根拠については、食料品製造業、卸売業等の7業種で各4件の協定締結を目標に設定したものである。</p> <p>また、宿泊業については、まだ協定を締結していないため、新規締結に向けて重点的に取り組んでいきたい。</p> <p>行田市市民意識調査はおよそ5年に1度実施しており、行田市総合振興計画に関する市民意識調査は毎年実施している。</p>
田尻委員長	<p>すでに協定締結を想定した28件分のリストはあるのか。</p>
事務局	<p>現状では具体的なリストはない。</p>
高柳委員	<p>5つの目標指標がある中で、居住誘導に関する目標だけが</p>

<p>事務局</p> <p>田尻委員長</p>	<p>マイナスの目標値となっている。目標指標名の“低下抑制”はマイナスな表現のため、“適切な維持”としてはどうか。</p> <p>また、指標説明の中に全国的な人口減少のため、このままではより減少してしまうことを追加してはどうか。</p> <p>指標名の表現は改めたい。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計では30.5人/haと望ましくない値が出ている。そのため、既成市街地の基準である40人/haの維持を目標としていきたいということである。</p> <p>指標説明の記載について再度検討を行う。</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所による将来推計が30.5人/haとなっていることを明記させていただく。</p>
<p>長岡委員</p>	<p><b>4 報告事項</b></p> <p><b>(1) 行田市地域公共交通計画について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料に沿って説明</li> <li>・質疑</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>デマンドタクシーの外出目的で買物が少ないようであるが、武蔵野市では時間帯を区切って調査をしたところ買物が最も多く、利用の多い時間帯へ便数を多くするなどの仕掛けを行っている。今回の調査では時間帯ごとの調査を行っているか。</p> <p>また、熊谷市、羽生市とのバスの連携はできると思う。先日、バスを乗り継いで深谷市から熊谷市、行田市に来て、東松山市、川越市方面に行くテレビ番組があったが、そのような取組ができるのではないかと考えている。</p> <p>時間帯ごとの利用目的は調査済みである。行田市のデマンドタクシーは、75歳以上もしくは障がいをお持ちの方と限定しているため、目的地としては午前中の病院・薬局が</p>

<p>根岸委員</p>	<p>多い状況である。</p> <p>他市との連携については、計画の課題3で掲げており、今後連携を考えていかなければならないと考えているが、安易に他市の駅にアクセスさせるのではなく、鉄道等を含めた他の公共交通では行きにくい、例えば、郊外の医療機関等への接続を考えている。</p> <p>デマンドタクシーで午前中の病院利用が多いのは、自分自身が行かないといけないからだと思う。買物などは家族や他の人に頼むことができる。</p> <p>公共交通で外出する際は、自宅の前から利用したい。自宅の前まで来てくれた方がよい。</p> <p>いくらバスのルートを整備しても、バスに乗り慣れていない高齢者は使いこなせないし、乗らないと思う。そして、バス停まで行かないと乗れないようなバスは高齢者には酷である。中高生なら使うかもしれないが、高齢者や障がい者には使いにくいいため、ターゲットを明確にすべきである。</p> <p>アプリで呼べば自宅まで来てくれるようなデマンドタクシーなど、通院だけでなく、ちょっとした外出の際に自由に動けるシステムを希望する。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局としても同様に感じているが、市内循環バスもデマンドタクシーも一定の経費が掛かるものである。また、市民意向調査では市内循環バスの満足度が低い状況であるため、今後は多様化するニーズに応えることができるよう、市内循環バスとデマンドタクシー全体での再編として、乗り合いの形態も考えているところである。</p>
<p>樽見委員 事務局</p>	<p>地域公共交通計画は鉄道も対象としているのか。</p> <p>対象としている。地域公共交通会議にはJR東日本や秩父鉄道も参加している。</p>

事務局	<p><b>4 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 11月19日（日）10：30～、立地適正化計画と地域公共交通計画を合せた市民説明会の開催を予定している。</li><li>・ 11月20日（月）～12月18日（月）までパブリックコメントを実施予定である。</li><li>・ 次回の策定委員会は令和6年1月下旬を予定している。</li></ul> <p><b>5 閉会</b></p>
-----	---